

家族連れらで大盛況

生徒たちが仕入れから販売

津商モール 元気に接客
生鮮食品、花…多彩

津商生が仕入れから販売まで行う「津商モール」は、商業の勉強の総まとめとして知識やマナー、サービスを考える力を養おうと開いており7回目。今年 は3年生の課題研究(同モール) 選択者48人が、総務部、店舗マネジャーなどの役割を担い、全校生徒の中心になって企画、運営。美作地域の企業、商店の協力を得て生鮮食品や日用雑貨、花、家電など多彩な商品を販売する模擬商店街を体育館や中庭で展開した。



「津商モール」の鮮魚コーナーのにぎわい

格安の商品がずらり。カニやマグロなどを並べた鮮魚コーナーでは生徒たちが「いかがですか」「安いですよ」と元気いっぱい客を呼び込み、ブリの解体ショーも大人気だった。

鮮魚マネジャーの村員・中村沙弥香さん(19) 美作市は「ほかにもケーキなど買いたいものがたくさん。高校生が笑顔で接客し、活気があっていいですね。来年もまた来たい」と話していた。